

2023早春 体験 検察庁

体験プログラム [active learning program] ある強盗致傷事件について、警察官が被疑者と思われる者を特定し、被疑者の逮捕を見据えつつ今後の捜査方針を相談しにきました。あなたが検察官だったら、どのような点を警察官に確認し、被疑者の逮捕についてどんな結論を出しますか？

検事正スピーチ [Public Prosecutor's Speech] 検事キャリア約30年の仙台地方検察庁検事正から、参加者の皆様へメッセージ。

検事座談会 [round-table talk] 若手検事（仙台地方検察庁）をメインに、幹部検事（仙台高等検察庁、仙台地方検察庁）も加えて、事前質問も受け付けた上で、検事の仕事やライフプランなどについて、語ります。

日 時: 令和5年3月2日（木）13:00～17:15

場 所: 仙台市青葉区片平1-3-1 法務総合庁舎 仙台高等検察庁・仙台地方検察庁

対 象: 東北大学法学部生

定 員: 15名程度（先着順）

お願い: 新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを着用の上、参加願います
入館時のアルコール消毒・検温にご協力願います

申込方法: 別途案内に従ってください

問合先: 仙台高等検察庁企画調査課 022-222-0752（平日9:00～17:00）



仙台高検広報キャラクター 赤オニコパスちゃん

体験検察庁2023早春 ミニ用語集

用語

◆ 事件相談:

検察官が、各都道府県警察などの司法警察職員から、事件送致に先立って、事件の見通しや今後の方針などについて相談を受けること

◆ 司法警察員からの事件送致（検察送致）:

司法警察員が、検挙した事件を検察庁に持ち込み、検察庁では、手続的確認をした上、それを受理。司法警察員は、犯罪の捜査をしたときは、原則、全ての事件を検察官に送致しなければならない。逮捕された被疑者の事件を受理した場合、検察官は、引続き留置の必要があるときは、24時間以内に、裁判官に被疑者の勾留を請求しなければならない。

◆ 行動確認:

捜査員が、公道上などの非私的領域から、感得できる被疑者の行動について、監視・尾行するなどの捜査方法

◆ 画像鑑定:

防犯カメラ等の画像に映っている人物等と、それと同一ではないかと疑われる人物等の写真や映像とを比較して、その一致の程度等を専門家が判定する。

◆ 裁判員裁判対象事件:

地方裁判所で行われる刑事事件のうち、殺人罪、現住建造物等放火罪、覚醒剤取締法違反(営利目的の密輸入)等の一定の重大な犯罪については、裁判員(国民)が参加する裁判員裁判となる。例えば、強盗罪(刑法236条)は、非裁判員裁判対象事件であるが、強盗致傷罪(刑法240条)は、裁判員裁判対象事件である。

● 検事正:

全国に50ある地方検察庁に1人ずつ置かれ、担当する地方検察庁における業務が公正・適正に行われているかどうか、全国的に見てバランスの取れた結論になっているかどうか、また、組織の長として、各職員の能力が十分に発揮できる職場環境にあるかといった観点から、組織全体を見渡し、指揮・監督を行う。

● 新任検事・新任明け検事・A庁検事・シニア検事:

新任検事とは、検事任官1年目の検事を指し、新任明け検事とは、新任検事期間が終わり、A庁検事になるまでの間の検事を指す。A庁検事とは、検事任官後4～5年目の検事で、A庁とは、東京地検や大阪地検といった大規模な検察庁のことを指し、検事任官後4～5年目の検事は、A庁に配置される。シニア検事とは、A庁検事期間を終えた検事を指す。

参考条文

司法警察職員と検察官

刑事訴訟法 189条2項 司法警察職員は、犯罪があると思料するときは、犯人及び証拠を捜査するものとする。

同192条 検察官と都道府県公安委員会及び司法警察職員とは、捜査に関し、互に協力しなければならない。

同193条1項 検察官は、その管轄区域により、司法警察職員に対し、その捜査に関し、必要な一般的指示をすることができる。この場合における指示は、捜査を適正にし、その他公訴の遂行を全うするために必要な事項に関する一般的な準則を定めることによつて行うものとする。

通常逮捕

刑事訴訟法 199条 【逮捕状による逮捕の要件】

刑事訴訟法 203条 【(逮捕時の)司法警察員の手続、検察官送致の時間制限】

事件送致

刑事訴訟法 205条 【司法警察員から送致を受けた検察官の手続・勾留請求の時間の制限】

刑事訴訟法 246条 【司法警察員から検察官への事件の送致】

被疑者勾留

刑事訴訟法 207条 【被疑者の勾留】

刑事訴訟法 208条 【起訴前の勾留期間、期間の延長】

強盗罪・強盗致傷罪

刑法236条1項 暴行又は脅迫を用いて他人の財物を強取した者は、強盗の罪とし、五年以上の有期懲役に処する。

同法240前段 強盗が、人を負傷させたときは無期又は六年以上の懲役に処し、死亡させたときは死刑又は無期懲役に処する。

検察官

検察庁法 4条 検察官は、刑事について、公訴を行い、裁判所に法の正当な適用を請求し、且つ、裁判の執行を監督し、又、裁判所の権限に属するその他の事項についても職務上必要と認めるときは、裁判所に、通知を求め、又は意見を述べ、又、公益の代表者として他の法令がその権限に属させた事務を行う。